

～一関遊水地見学会開催～

10月19日(土)、岩手河川国道事務所と「あいぼーと」では、昭和47年度から進められてきた一関遊水地事業の進捗状況と今後予想される異常気象がもたらす災害に対する治水の意義について学んでいただき、本事業への理解を深めていただくため、一関遊水地見学会を開催しました。

当日は多少肌寒さも感じさせる気候でしたが、秋空の下、26名の方々に参加いただきました。

～あいぼーとにて～

最初に「あいぼーと」にて北上川、一関遊水地事業について学習していただき、現場体験の石詰め作業にて利用する記念石に思い思いの絵や願いごとを書き添えていただきました。



北上川の遠隔監視や管理施設操作をおこなっている集中管理センターを見学。



石詰め作業で利用する記念石にイラストを製作中。

「あいぼーと」での学習の後、遊水地の工事現場に移動して見学。「あいぼーと」にて製作した記念石を利用してのかごマットの石詰め作業や建設機械搭乗、測量などを体験してもらいました。

～工事現場にて～

最後に「あいぼーと」の敷地内にて排水ポンプ車と除草機械の稼働実演を見学して頂きました。



石詰め作業中



建設機械の搭乗や測量の体験もしていただきました。



排水ポンプ車と除草機械の稼働実演の様子



参加していただいた皆様、ありがとうございました！！
※第1小堤(初期越流堤)をバックに

当日は遊水地事業や河川管理に関する質問が数多く出され、皆様の治水対策事業に対する期待や関心の高さや感じさせていただくことができました。参加頂いた皆様、ありがとうございました。

◆◆編集後記◆◆今回初めて一関遊水地見学会に参加させて頂きました。私が在職した過去2回は準備や後片付けのお手伝いのみでした。この洪水の多い一関・平泉地区をこうして沢山の方々が守って下さっていることを学びました。来年からはぜひ皆様もご参加して下さい。(K)